

宇都宮市立桜小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童の割合は88.7%で、自分のよさや成長を実感できるような活動を積極的に取り入れることで自己肯定感の高まりが見られたと考えられる。今後も、特別活動を中心に自分で考えやり遂げる経験をさせ、達成感を味わうことで、自分に自信をもって主体的に生きる児童を育成していきたい。

○「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合は90.9%で、県や全国の平均を上回っている。日頃の学習において目標を明確に設定できるような取り組みや、キャリアパスポートの活用成果であると考えられる。今後、総合的な学習の時間に職業について調べる学習に自己の課題を設定し取り組むことで、さらに将来への見通しをもち、「なりたい自分」を見付けられるよう指導していきたい。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童は100%、「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童の割合は95.5%と高い割合である。道徳科の時間や日々の児童指導において、相手を思いやる心の育成やいじめを絶対許さない態度の育成に努めた結果である。引き続き、互いを思いやり、助け合いながらよりよい集団づくりを目指していきたい。

○「5年生までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」と回答した児童の割合は90.9%と9割を超えた。これは、県の78.4%や全国の78.8%を大きく上回っている。進んで学習に取り組む態度が身に付いていることが伺える。さくらの学びを活用し、基本的な学習への取り組み方を指導した成果であると考えられる。今後も継続して課題に積極的に取り組んでいけるよう支援していきたい。

●「学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した児童は72.7%で、県や全国を下回っている。学習に対する取り組みは意欲的だが、復習したり、既習の内容を次の学習につなげたりすることが苦手な児童が多い。課題の出し方を工夫したり授業の展開を工夫したりして、分かった点、わからなかった点を見直し、振り返りの充実が定着していけるようにしたい。

●「1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の回答では、「普段(月曜日から金曜日)は1時間以上」と回答した児童は90.9%と9割を超す児童がいるのに対し、「土曜日や日曜日では1時間未満」と回答した児童は40.9%であった。そのうち全くしない児童も6.8%いた。課題に意欲的に取り組む姿勢は身に付いているので、今後は課題の出し方を工夫し、授業の学習が家庭学習につながるようにしていきたい。

●「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」の回答で、「10分より少ない、全くしない」と答えた児童は約50%で、県の38.5%、全国の39.9%を大きく上回っている。「読書が好き」と回答した児童が75%と高い割合を示しているため、読書の楽しさを実感していると思われる。今後は、児童の興味を引くようなブックトークをしたり、学習内容に即した本を紹介したりして、たくさんの本に触れる機会を意図的に設け、読書活動の充実を図りたい。

宇都宮市立桜小学校 (第6学年) 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組 | 取組の具体的な内容 | 取組に関わる調査結果 |
|------------------------|---|---|
| ・授業におけるめあて・まとめ・振り返りの充実 | ・授業のめあてを明確にし、振り返りをきちんと行う学習サイクル「さくらの学び」の取組 | ・「学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」の質問に対して肯定割合が72.7%で県より6.9ポイント、全国より4.4ポイント下回った。 |

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

| 調査結果等に見られた課題 | 重点的な取組 | 取組の具体的な内容 |
|----------------------|--------------------------|---|
| ・土日の家庭学習時間や読書時間が少ない。 | ・家庭学習の定着 ・本と結び付けた学習展開 | ・家庭学習時間を記録させるようにしたり、自主学習の取り組み方の例を示したりする。 ・授業で図書室を積極的に活用し、本に慣れ親しむ機会を作る。 |